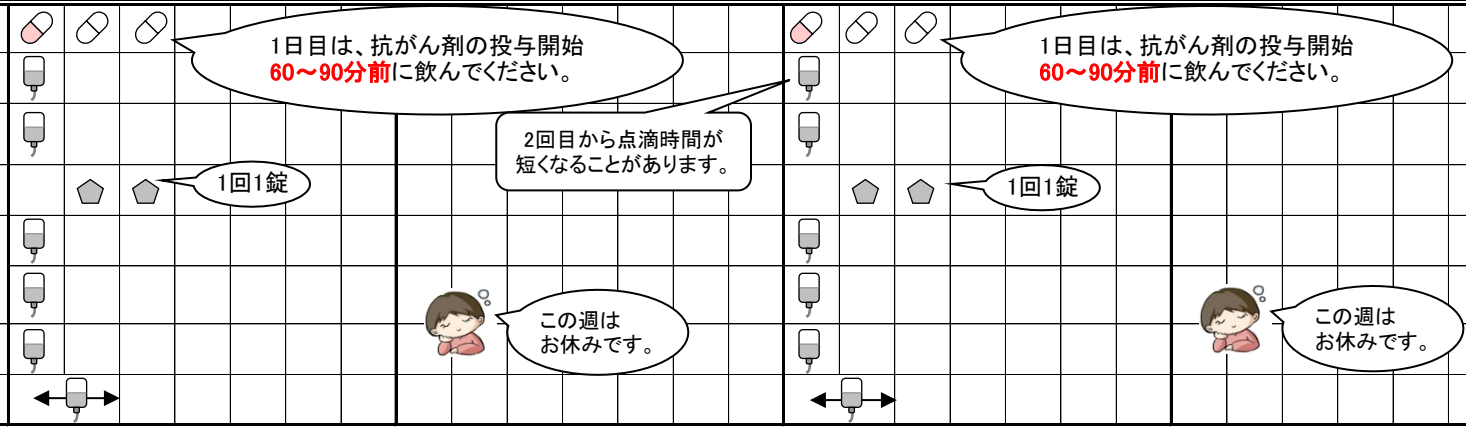
【FOLFIRI+アバスチン療法について】

（5-FU＋レボホリナート＋イリノテカン＋アバスチ

様　　コー

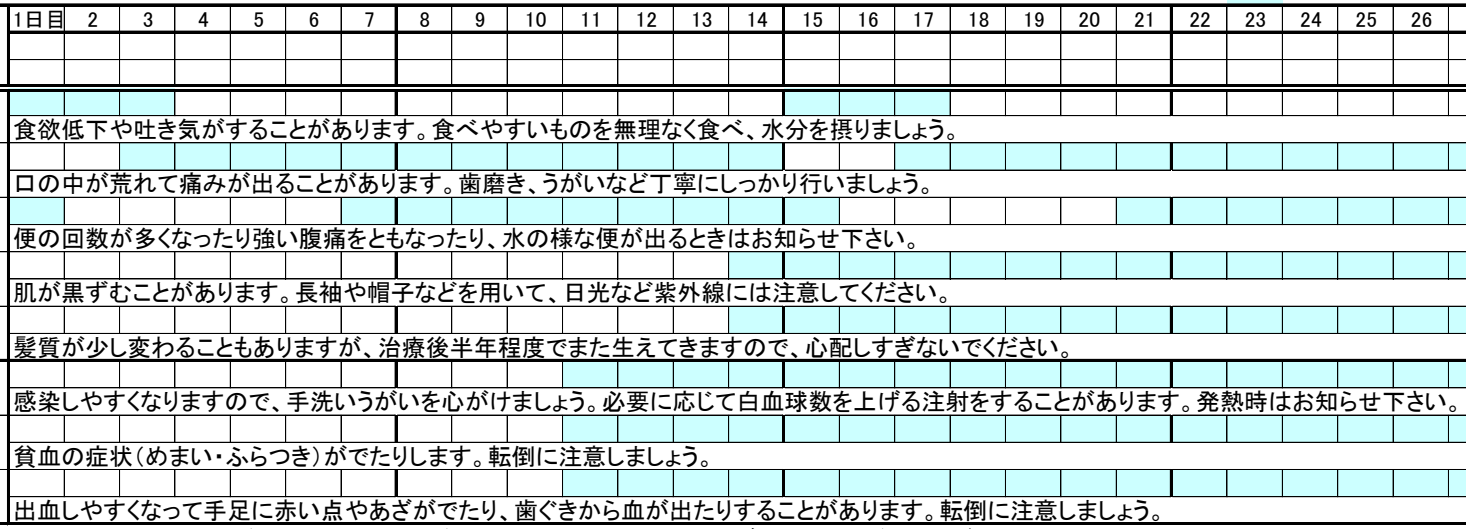
お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	めやすの時間
イメンドカプセル	吐き気止めです	1日1回　内服
アバスチン注	抗がん剤です	90分
グラニセトロン注 デキサート注	吐き気止めです	30分
デカドロン錠	吐き気止めです	朝　内服
イリノテカン注	抗がん剤です	2時間
レボホリナート注	フルオロウラシルの効果を強める薬です	2時間
フルオロウラシル注	抗がん剤です	約5分
フルオロウラシル注（持続	抗がん剤です	46時間



治療による副作用

：注意が必要な時期



自覚症状	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。
	口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。
	下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をともなったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。
	色素沈着	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。
	脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状（めまい・ふらつき）がでたりします。転倒に注意しましょう。
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていませんが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

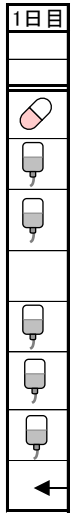
●血圧上昇　●出血（鼻血など）　●タンパク尿　●胃腸穿孔（下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など）　●傷の治りが遅い

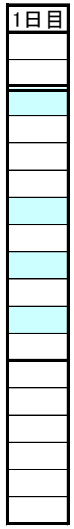
●血栓・塞栓（足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど）

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

岩手県立大船渡病院薬

ス目





剤科